

取扱・取付説明書-2

適合機種
マジェスティ-C

＜お客様へ＞

- ・この「取扱・取付説明書-2」をご覧いただく前に、必ず「取扱・取付説明書-1」をご覧ください。
- ・ご使用前、安全に正しくお使いいただく為に必ず「取扱・取付説明書-1,2」をよくお読みになつて下さい。
- ・お読みになられた後も、必ず必要になる場合がありますので、「取扱・取付説明書-1,2」は大切に保管してください。

＜取付販売店様へ＞

- ・この「取扱・取付説明書-2」は、必ずお客様へお渡しください。

キット内 構成 品

※取り付ける前に部品点数を必ず確認してください。

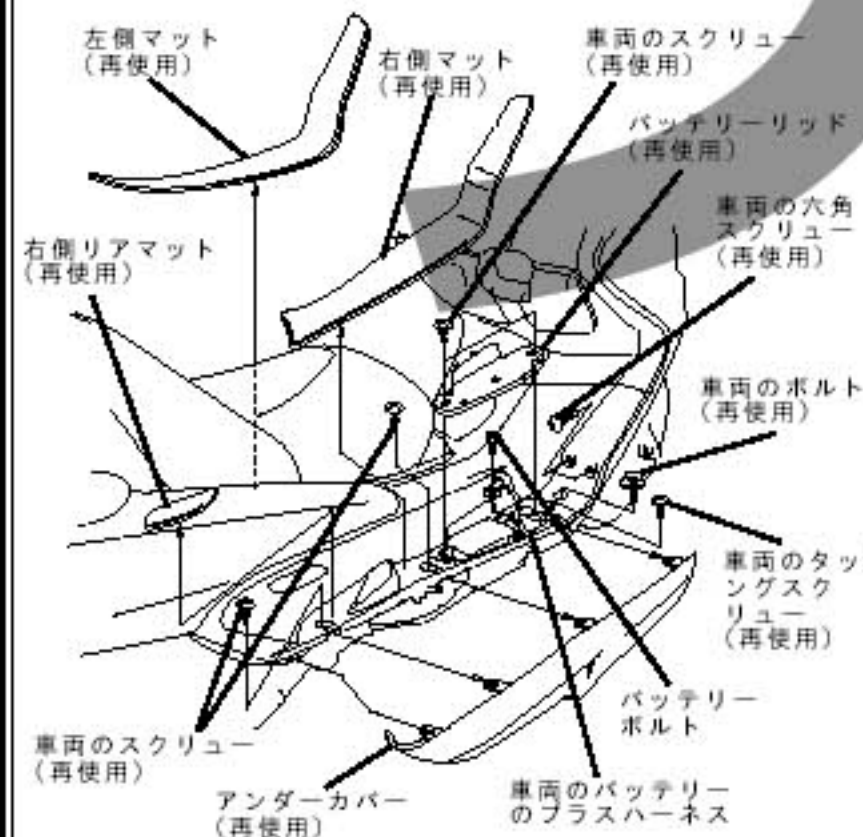
ブラスト	×2	オルゲートチューブ	×2
スライド式パーナー	×1	ボルト (小、短)	×3
ロー固定式パーナー (シェード付)	×1	ボルト (小、長)	×3
遮光版 (シェード付)	×1	ボルト (大)	×1
H/Lユニット	×1	ナット	×4
リレー	×1		
メインハーネス	×1		
リレーハーネス	×1		
マイナスコード	×1		
3Pカプラー	×1		
3Pカプラープラスコード	×1		
3Pカプラーマイナスコード	×1		
タイラップバンド (小)	×3		
タイラップバンド (大)	×3		
オスギボシ端子	×1		
メスギボシ端子	×1		
オスギボシ端子カバー	×1		
メスギボシ端子カバー	×1		

使用 工 具

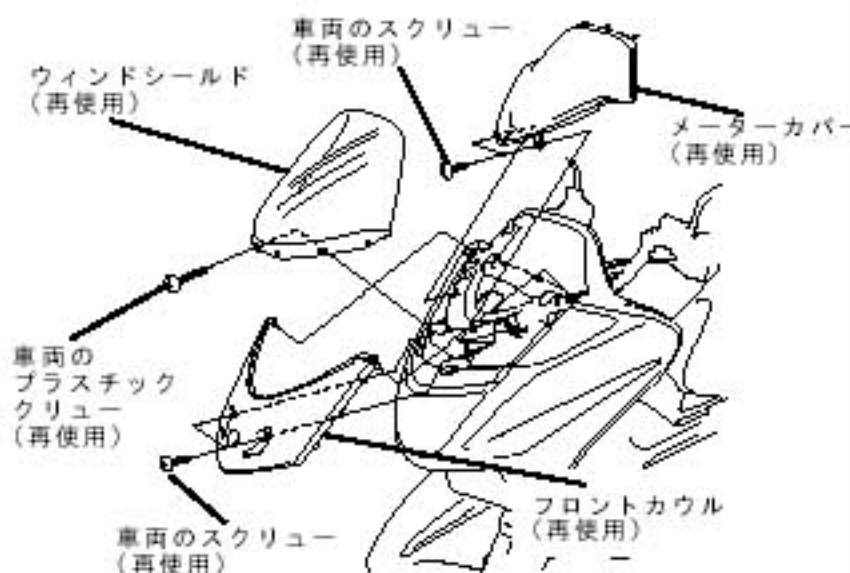
- 一般工具
- 圧着ペンチ
- 両面テープ
- ニッパー

取 付 方 法

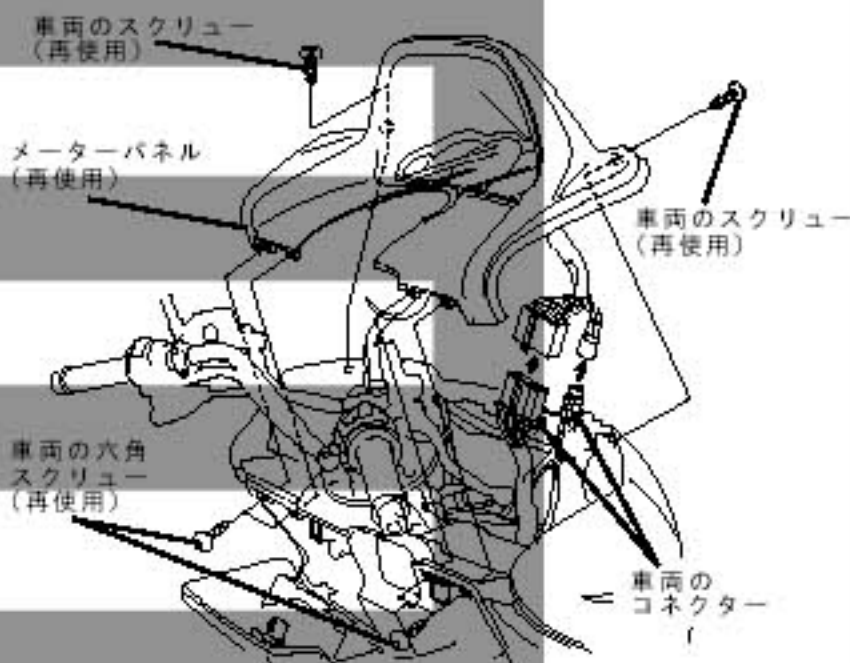
1) ステップ回りの部品を図の様に取外してください。



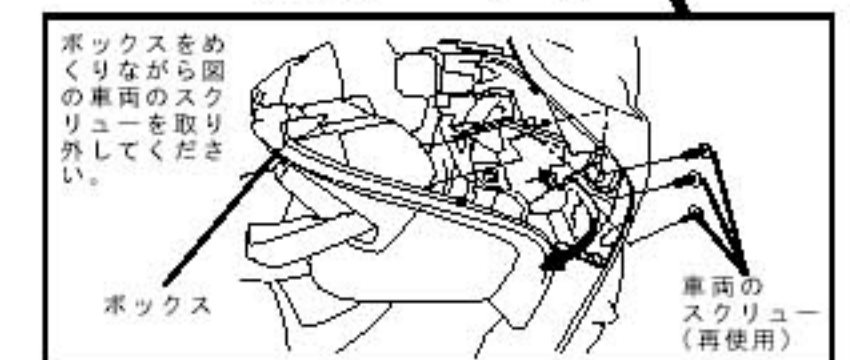
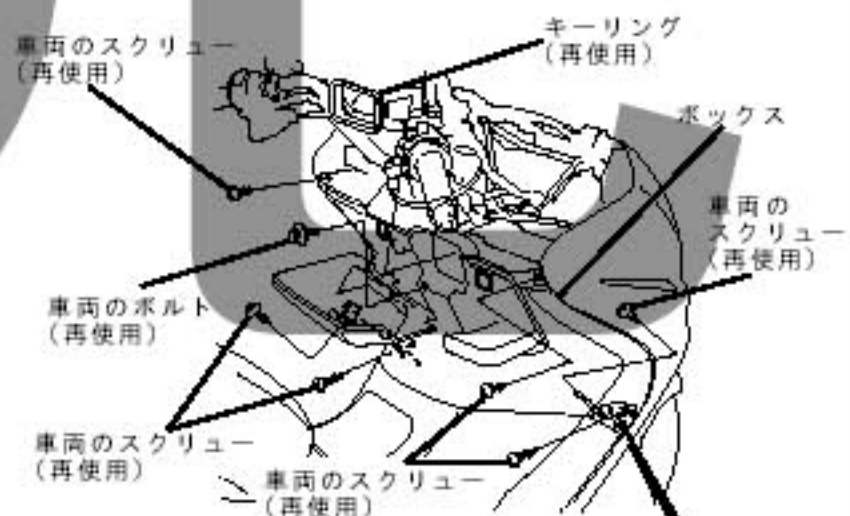
2) ウィンドシールド回りの部品を図の様に取外してください。



3) メーターパネルを図の様に取外してください。



4) ボックスのスクリーン、ボルトを図の様に取外してください。
5) ボックスと車両の合わせ目を外し、図の様に右側をめくりながらスクリーンとボルトを取り外して、ボックスを車両から取り外してください。



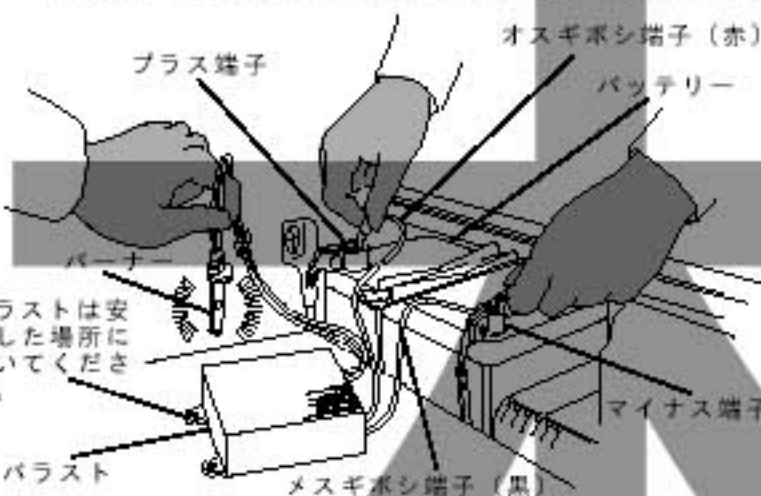
6) 下記の要領でバルブの空焼き作業を行ってください。

- 注意**
- ・点灯確認を行うときは必ず役割分担を決めた上、二人以上で作業を行ってください。
 - ・HIDバルブが点灯すると大変熱くなり消灯後もしばらくは熱いままです。不用意に触るとヤケドを負う危険性がありますので十二分に注意してください。
 - ・点灯確認中バルブを直視しないでください。直視すると眼球が焼けたり、痛みが生じる恐れがあります。

- 重要**
- ・空焼きは必ず行ってください。作業を怠るとヘッドランプが曇る可能性があります。
 - ・空焼きを行った後は、ガラス面に絶対に触らないでください。ガラス面に油分が付着しランプの曇りの原因になります。

- 防護メガネ着用** **防護手袋着用** **破裂注意**

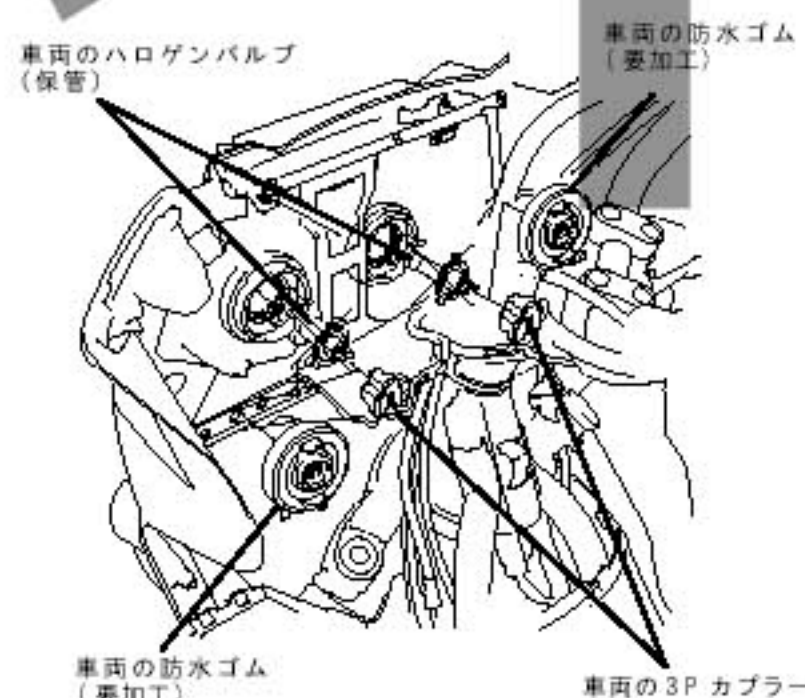
- ① バラストとパーナーを接続してください。
- ② 平らな箇所にバラストを置き、役割分担を決めた上で下図の様にバルブの点灯確認と空焼き作業を行ってください。



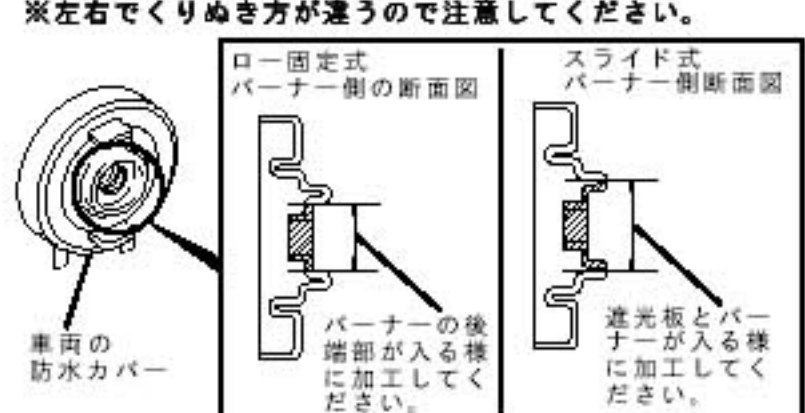
- ・1人がパーナーを図のように持ち、もう1人がバラストの端子をバッテリーの端子に付けて必ず2人以上で点灯確認してください。
- ・点灯確認は20～30秒程行ってください。初期の点灯では白い煙がでる場合があります。そのときは煙が出なくなるまで点灯してください。この作業を行わないとランプが曇る可能性があります。(空焼き作業)

- ③ 空焼き作業が終わったらバラストとパーナーを切り離してください。
- ※空焼き作業後はパーナーのガラス面に触れない様に注意してください。

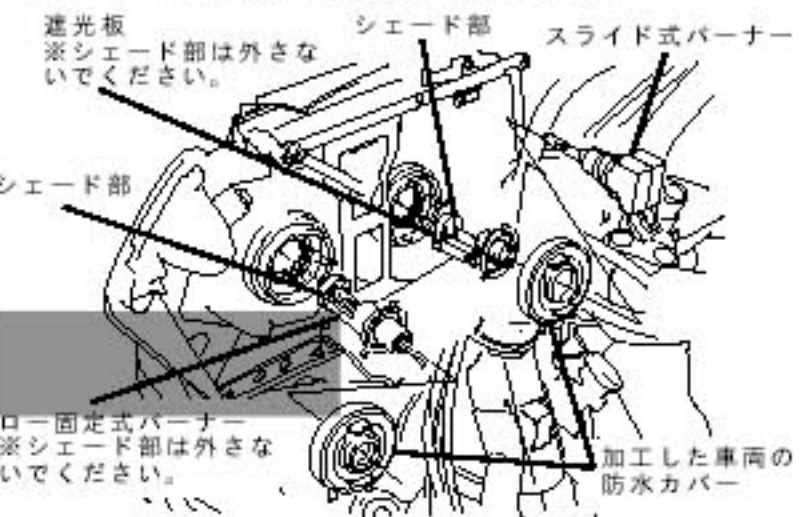
7) 車両からハロゲンバルブを図の様に取外してください。



8) ニッパー等で図の様に防水カバーの斜線部を切り抜いてください。
※左右でくりぬき方が違うので注意してください。



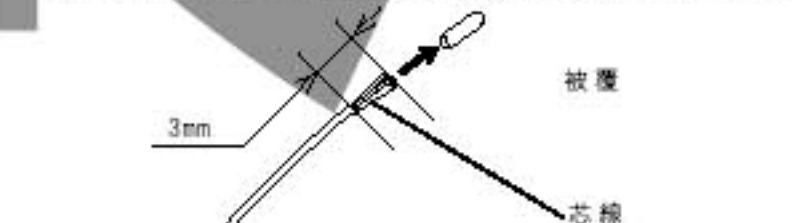
9) パーナーを図の様に車両に取り付けてください。



10) ロー固定式パーナーのコードにコルゲートチューブの長さを調整した後に被せてください。
※スライド式パーナーには使用しません。



11) リレーハーネスのコード (黒) とコード (緑) の先端から3mmのところまでビニールの被覆を取って、芯線を出してください。



- 12) メインハーネスのコード (黒) にギボシ端子 (メス) を取り付けてください。
- 13) メインハーネスのコード (緑) にギボシ端子 (オス) を取り付けてください。

- 危険**
- ・ギボシ端子の取り付けには必ず圧着プライヤーを使用してください。普通のプライヤーで取り付けを行うと漏電、火災等の原因となり死亡する可能性があります。

